

# N響 第9

NHK Symphony Orchestra Special Concert  
ベートーヴェン/交響曲 第9番 二短調 作品125 [合唱つき]

指揮: クルト・マズア

ソプラノ: 安藤赴美子 アルト: 手嶋眞佐子  
*Fumiko Ando, soprano Masako Teshima, alto*

テノール: 福井敬 バリトン: 福島明也  
*Kei Fukui, tenor Akiya Fukushima, baritone*

合唱: 国立音楽大学/東京少年少女合唱隊  
*Kunitachi College of Music / The Little Singers of Tokyo, choruses*

conductor  
**Kurt Masur**

2009

12/22 (火) 7:00pm, 23 (水・祝) 3:00pm, 25 (金) 7:00pm\*, 26 (土) 3:00pm

NHKホール ※12月25日はNHK厚生文化事業団主催のチャリティーコンサートです。

前売開始 10月4日(日) 10:00am~

S¥13,000 A¥10,000 B¥7,000 C¥5,000 D¥3,000 (税込)

\*25歳以下または学生の方は、1000円割引(C・D席のみ)

予約時に証明となるものをご提示、来場時にはご携帯ください。

N響定期会員優先発売日 9/27(日) [会員割引5% / 25日公演のぞく]

前売所 ©N響ガイド 03-3465-1780 ©チケットぴあ 0570-02-9999 <http://pia.jp/t/nhkso>

©e+(イープラス) <http://eplus.jp/nhkso> ©楽天チケット <http://ticket.rakuten.co.jp/nhkso>

©ローソンチケット 0570-000-407 <http://l-tike.com>

お問い合わせ:N響ガイド 03-3465-1780 (平日10:00am~6:00pm / 各発売初日は電話受付のみの営業)

NHK厚生文化事業団 03-5728-6633 (平日10:00am~6:00pm / 25日公演のみ)

主催:NHK/NHK交響楽団・NHK/NHK厚生文化事業団 (25日公演のみ)

協賛:みずほ証券株式会社/株式会社東芝/はごろもフーズ株式会社/花王株式会社/JPモルガン・アセット・マネジメント株式会社

# N響第9

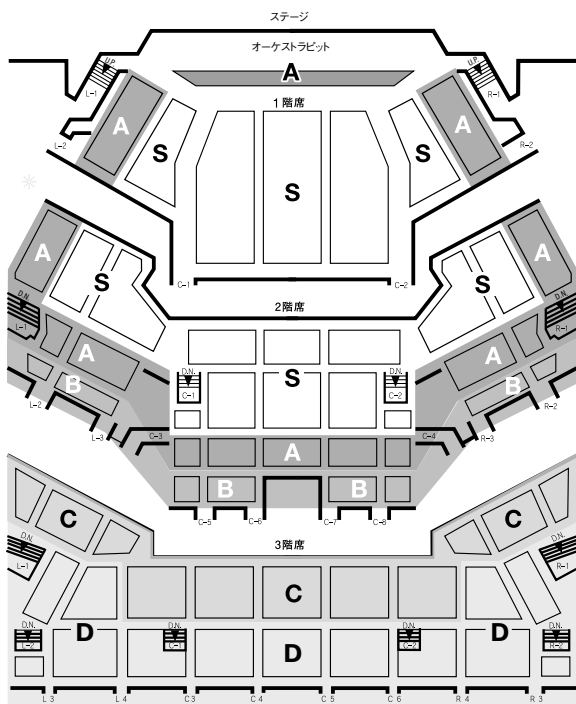
Beethoven Symphony No.9 "Choral"

今から20年前の1989年11月、冷戦の象徴とも言われる「ベルリンの壁」が崩壊しました。その1か月前、ライプツヒでは「月曜デモ」で7万人にもものぼる市民が、東ドイツ政府の独裁に対し抗議を行いました。その際に市民が武力行使せずに、平和的解決をするよう導いたのが、当時のライプツヒ・ゲヴァントハウス管弦楽団カペルマイスターのクルト・マズアでした。この政治的な活動によってマズアはドイツ国民から尊敬され、ドイツ統一後、ドイツ大統領候補になりました。

もちろんマズアは指揮者としても超一流の実力の持ち主。世界最古の交響楽団であるライプツヒ・ゲヴァントハウス管弦楽団カペルマイスターを26年にもわたって務めたほか、ニューヨーク・フィルハーモニック音楽監督、ロンドン・フィルハーモニー管弦楽団首席指揮者、フランス国立管弦楽団音楽監督を歴任。

マズアはこれまでもしばしば《第9交響曲》の合唱に少年合唱団を加えています。今回もこのスタイルで演奏します。日本を代表する歌手陣とともに楽しみください。

## N響第9演奏会 座席表



## 託児コーナー 12月23日(水・祝)・26日(土)

満2歳～未就学のお子様

(お子様おひとり1,000円、2人目より500円ずつプラス)

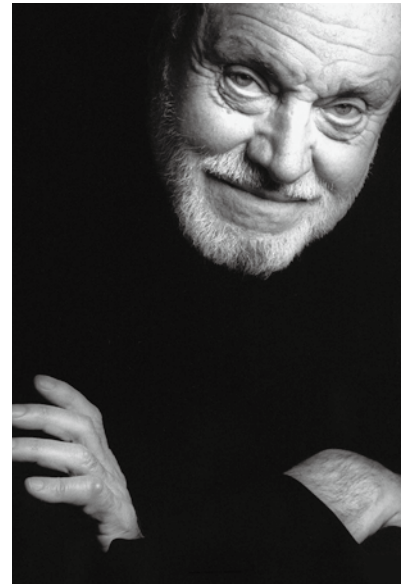
お申し込み締切: 該当公演の2営業日前

※定員(15名)に達した場合は、お断りさせていただきます。

お申し込み: コンビウィズ(平日9:30am~5:00pm) ☎0120-192-217

## 指揮: クルト・マズア

1927年ドイツ・シュレージエン地方のブリーク(現在ポーランド領)生まれ。旧・東ドイツの指揮者。1967年から1972年までドレスデン・フィルハーモニー管弦楽団首席指揮者、1970年から1996年まで長期にわたりライプツヒ・ゲヴァントハウス管弦楽団カペルマイスターを務めた。1989年10月9日の「月曜デモ」の際に、東ドイツ政府に市民が武力行使なしに、平和的な解決するように導いた。この政治的な活動によってドイツ国民に尊敬され、1990年の東西ドイツ統一後は大統領候補になり、さらにはライプツヒ市から名誉市民賞を贈られた。1991年から2002年までニューヨーク・フィルハーモニック音楽監督、並行して2000年から2007年までロンドン・フィルハーモニー管弦楽団首席指揮者、2002年から2008年までフランス国立管弦楽団音楽監督を歴任。また、1992年からイスラエル・フィルハーモニー管弦楽団名誉客演指揮者でもある。昨年には、指揮者活動歴60年を迎えた。1991年から国際メンデルスゾーン協会会長、2003年からメンデルスゾーン基金会長として精力的に活動している。N響には初登場となる。



©Sasha Gusov



ソプラノ:  
安藤赴美子

北海道出身。国立音楽大学声楽学科卒業、同大学院修了。新国立劇場オペラ研修所第3期生修了後、文化庁派遣芸術家在外派遣員としてイタリア留学。新国立劇場オペラ研修所公演モーツァルト《フィガロの結婚》(ミハエル・ハンベ監修)伯爵夫人などで好評を博す。2003年アメリカで行われた「ポーランド・オペラ・パフォーミング・インスティテュート」に招待されガラ・コンサートに出演したほか、2004年「国際音楽祭ヤング・ブラハ」のオープニング・コンサートに出演。2006年ブッチーニ《ボエム》ムゼッタで二期会オペラにデビュー、2007年新国立劇場バレエ公演のグリュック《オルフェオとエウリディーチェ》エウリディーチェで出演。ことし2月には東京二期会のヴェルディ《椿姫》(宮本亜門演出)のヴィオレッタに抜擢された。N響とは初共演。二期会会員。



アルト:  
手嶋眞佐子

福岡県出身。東京藝術大学声楽科卒業、同大学院修了、大学卒業時に「松田シ賞」受賞。文化庁オペラ研修所第11期修了。1994年「ブラジド・ドミンゴ世界オペラ・コンテスト」メゾ・ソプラノ部門優勝。1998年秋から文化庁派遣芸術家在外研修員としてニューヨークに留学。留学中にシカゴ交響楽団「ラヴィニア・フェスティバル」などに参加。帰国後、2001年に二期会創立50周年記念公演のJ.シュトラウス《こもり》オルロフスキー、2002年に新国立劇場・二期会共催のR.シュトラウス《ナクソス島のアリアドネ》作曲家などに出演。コンサートではガリ・ベルティーニ指揮の東京都交響楽団とマラー《交響曲第8番「千人の交響曲」》、ロリン・マゼール指揮のスーパーワールドオーケストラとベートーヴェン《第9交響曲》ほか、ソリストとして数多く出演。N響とは初共演。二期会会員。



テノール:  
福井 敬

岩手県出身。国立音楽大学声楽学科卒業、同大学院修了。二期会オペラスタジオ修了。修了時に「川崎静子賞」受賞。文化庁オペラ研修所修了。1990年および1994年に文化庁派遣芸術家在外研修員などでイタリアに留学。1992年二期会創立40周年記念のブッチーニ《ボエム》ロドルフォで鮮烈にデビュー。以後、数々のオペラ作品に主演。ことは、3月に舞台芸術共同制作公演のブッチーニ《トゥーランドット》(びわ湖ホール&神奈川県民ホール)カラフで好評を博した。「第44回芸術選奨文部大臣賞」新人賞、「第25回ジロー・オペラ賞」、「第9回出光音楽賞」など数多くの受賞歴を持つ。コンサートでの活躍も目覚しく、N響とは1989年に初共演。近年では2006年2月プロムシュテット指揮のモーツァルト《ミサ曲ハ短調》で素晴らしい歌声を聴かせてくれている。二期会会員。



バリトン:  
福島明也

島根県出身。東京藝術大学卒業、同大学院修了。文化庁オペラ研修所修了。1987年から文化庁派遣芸術家在外研修員としてミラノに留学。1992年サンタ・マルゲリータで開催された「第10回コロソ・ディ・カント」で第1位・金メダル受賞。オペラデビューはブッチーニ《ボエム》マルチェロ。以後、数々のオペラに出演、モーツァルト没後200年の1991年には《コジ・ファン・トゥッテ》グリエルモや《ドン・ジョヴァンニ》主役などで好評を博す。コンサートでは2002年ロリン・マゼール指揮のスーパーワールドオーケストラとベートーヴェン《第9交響曲》をはじめ、数多く出演している。N響とは2002年5月、東京とソウルで開催されたシャルル・デュワ指揮のベートーヴェン《第9交響曲》で初共演、2004年のクシユフ・ベンデレツキ指揮の「第9」演奏会にも出演している。二期会会員。

\*出演者の変更場合があります。あらかじめご了承ください。  
\*未就学児のご入場はお断りしています。